



平和展

～へいわのつくりかた～

内容:

「ソーシャルレター」
「クラスター診断」のパネル展示
「被爆者(杉並区在住)
証言記録映像」の上映他

令和8年

8/12(水) - 8/15(土)

会場: 杉並区役所 1階ロビー
2階区民ギャラリーB

入場無料

時間: 8時30分 - 17時 (最終日は13時まで)

クロージングイベント

令和8年 8/15(土)

10時～正午

杉並区役所 中棟6階 第4会議室

※詳しくは裏面をご覧ください

主催:  杉並区

区公式サイトも
ご覧ください。



協力: NPO法人ボーダレスファウンデーション、QO株式会社

■講演会

講師: 中村 涼香 (なかむら すずか) 氏

(NPO法人ボーダレスファウンデーション理事)

経歴: 2000年長崎県生まれ。祖母が被爆者の被爆3世。高校時代から被爆地長崎を拠点に平和活動をはじめ。大学進学後、ICAN(核兵器廃絶国際キャンペーン)キャンペナーとして核兵器禁止条約を推進し、2022～2023年に国連で開催された締約国会議に出席。被爆地の外でのアクションをさらに広げるために東京を拠点とした「KNOW NUKES TOKYO」を設立。「移動型の原爆資料館」というコンセプトのもと企画した「あたらしいげんぱく展」は多くのメディアに取り上げられる。2025年よりボーダレスファウンデーションに参画。同年国連「SDGsのためのヤングリーダーズ」17名の一人に日本人として初めて選出される。

今回の平和展は、2,000人を対象とした『データで読み解く、日本の平和意識の現在地』調査（「へいわのつくりかた」調査）をもとに、「誰もが平和を願っている」という共通点を数値で明らかにすること。そして「はい」「いいえ」の二択だけでは見えてこない、人々の平和に対する価値観や姿勢のグラデーションを可視化することを目的とした展示を行います。

ソーシャルレターについて

戦後80年に合わせて、NPO法人ボードレスファウンデーションは、QO株式会社と一般生活者約2,000人を対象に「へいわのつくりかた」調査を実施しました。Social Issue Lab (SIL) の一環として、本調査レポートと、調査を踏まえ着目した生活者の生声をまとめたソーシャルレターを発表しました。



ソーシャルレター展示風景（「平和のつくりかた」展、令和7年、NPO法人ボードレスファウンデーション）

クラスター診断

平和への向き合い方を7つのタイプに分類した体験型パネル「クラスター診断」では、いくつかの質問に答えていただくと、あなたのタイプとおすすめのピースアクションを知ることができます。

被爆者（杉並区在住）証言記録映像の上映

杉並区に在住する被爆者と、令和6年度の広島平和学習中学生派遣事業に参加した中学生が語り合う対話形式の映像です。完全版（40分程度）。



クラスター診断展示風景（「平和のつくりかた」展、令和7年、NPO法人ボードレスファウンデーション）

画像提供：NPO法人ボードレスファウンデーション、QO株式会社

クロージングイベント

●クロージングセレモニー

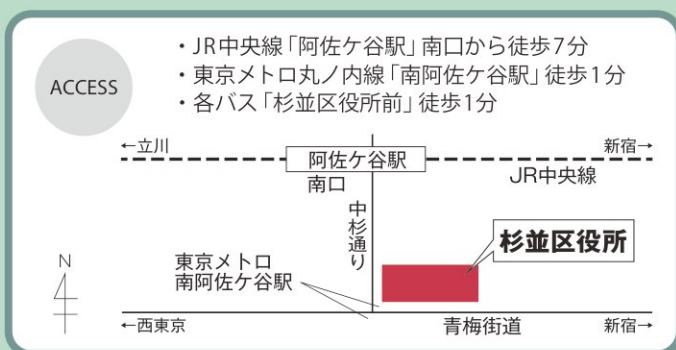
〓 10時～10時20分

- ・主催者あいさつ
- ・「被爆者（杉並区在住）証言記録映像」の上映（ショートバージョン）

●講演会「平和をつなげる～次世代へ～」

〓 10時30分～正午

- ・講師：中村 涼香氏
(NPO法人ボードレスファウンデーション理事)

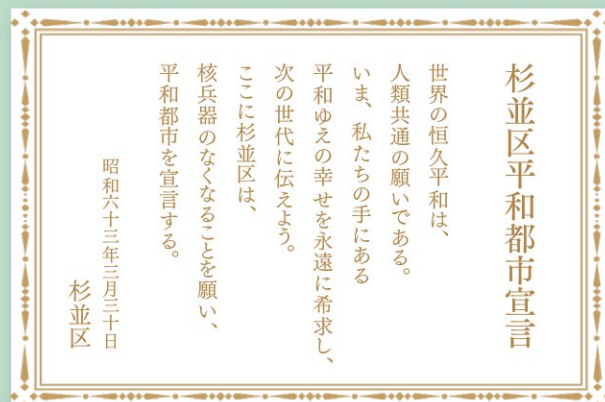


令和8年 **8/15** 〓 〓 10時～正午

定員：80名（当日先着順）

会場：杉並区役所 中棟6階 第4会議室

申込：直接会場までお越しください



問合せ：杉並区区民生活部管理課平和事業担当

杉並区阿佐谷南1-15-1

TEL：03-5307-0849（ダイヤルイン）